

2021年8月吉日

飯能市長 殿

飯能市消費者団体連絡会

代表 小園小夜子

要望書「飯能市に無料給水スタンドを設置してください」

近年、異常気象が常態化されつつあることをひしひしと感じています。国は本年6月プラスチック資源循環促進法を制定しました。

自治体にもそのための施策が求められ、ゴミ処理費用をかさ上げせざるを得ない時が来ると感じられます。プラスチックは製品にするときも、ゴミとして燃やすときもCO₂が出てしまいます。

2021年2月、飯能市は、将来にわたって、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継いでいくため、2050年までにCO₂の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

脱炭素に向けた取り組みの一つとして、ペットボトル削減とマイボトル持参をキャンペーンとした「無料給水スタンドの設置」を強く要望します。

その理由として、

- ① ペットボトルを減らすことはCO₂削減に貢献します。ペットボトルはリサイクルされていない、一度再生したものは2回目は燃やすしかないこと。
- ② 川のゴミ拾いを2021年3月からほぼ毎月1回はしていますが、捨てられたペットボトルが上位を占めていること。

* すでに給水スタンドを導入しているさいたま市、所沢市、京都市、鎌倉市の事例を見ることができます。さいたま市に本社がある「ウォータースタンド社」が自治体との協定で事業実績を積み上げ提示してくれています。

* 希望設置個所として、市役所、行政センター、図書館、小中学校など。

以上よろしくお願い致します。